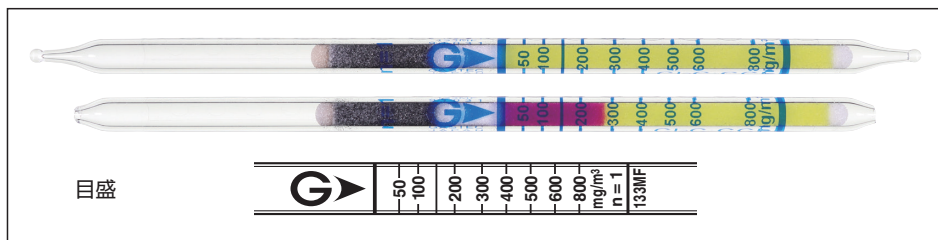


# テトラクロロエチレン $\text{Cl}_2\text{C}:\text{CCl}_2$

# No.133MF

Tetrachloroethylene



## 仕様

測定範囲	50 ~ 800 mg/m <sup>3</sup>
吸引回数	1回(基準) (100mL)
係数	1
測定所要時間	45秒

検知限度： 6 mg/m<sup>3</sup> (1回吸引)

変色： 黄色 → 赤紫色

温・湿度補正： 温度

有効期間： 30か月 冷蔵庫保存 (10℃以下)

変動係数：

G	CV=10%	CV=5%
	目盛範囲の1/3	目盛範囲の2/3

(CV：変動係数 =  $\sigma$  : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

## 反応原理

テトラクロロエチレンは酸化剤により塩化水素を生成し、指示薬は赤紫色を呈する。



## 干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
ケトン類	480mg/m <sup>3</sup> (200ppm)以下	影響しない	変色しない
塩化水素, 塩素, 臭素		+	赤紫色に変色
窒素酸化物		影響しない	変色しない
不飽和ハロゲン化炭化水素		+	赤紫色に変色
芳香族炭化水素	380mg/m <sup>3</sup> (100ppm)以上	-	変色しない
飽和ハロゲン化炭化水素		影響しない	変色しない

## 校正用ガス

ガス拡散管法